



乙訓福祉施設事務組合

広報

おっ・ふ・くっ・うしん

2016
12
No.36

乙訓福祉施設事務組合とは向日市、長岡京市、大山崎町の2市1町が福祉事業の一部を共同して行うことを目的として設立されている一部事務組合(特別地方公共団体)です。



ジャンプ!



たのしい!



乙訓ポニーの学校



乙訓ポニーの学校は、発達の遅れやつますきが心配される就学前のお子さんを対象とした児童発達支援事業を行う親子通園の療育施設です。利用申し込みは3月、6月、9月、12月の年4回受け付けています。

また、乙訓地域で生活しておられる18歳未満の児童とご家族を対象とした相談支援事業も行っており、様々なお悩みや困り事について相談をお受けしています。

TEL 075-952-5000

FAX 075-953-5200



療育プログラムの紹介

ポニーの学校は、低年齢児クラスと個別クラス、グループクラスがあり、定期療育として週1回の通園です。今回は、低年齢児クラスについてご紹介します。

低年齢児クラスについて

主として、保育所、幼稚園に通園していない利用児（主に0～2歳児）を対象としたクラスです。親子で一緒に遊ぶ時間をたくさん持ち、お母さんとの愛着関係をより深めていきます。

低年齢クラスのプログラム

9:40	名前よび・手遊び
10:00	かかわり遊び 音楽に合わせて皆で一緒に歩いたり、シーツブランコを楽しむなど、親子で身体を動かしながら楽しめる遊びを主に行います。
10:25	運動・設定遊び 小麦粉やスライムなどの様々な素材を使った感触遊びを楽しんだり、プレイルームの大型遊具で思い切り身体を動かして遊びます。
10:45	親子分離 子どもは自由遊び。保護者は親グループで担当職員と子育てなどについて話し合います。
11:00	食事
11:30	親子再会 療育の報告
11:50	終了

遊びの紹介



ボールプール

大きなビニールプールの中にプラスチックのボールを数百個入れて遊びます。ボールの中に埋もれて大胆に遊んだり、大人とボールを投げ合う等、ボールを使って自由に楽しみます。



トンネル遊び

床の上だけではなく、緩やかな斜面に置くことで傾斜がつき、しっかり手足をついて上ることができます。トンネルが透明で中が透けるので、外から「おーい」と呼びかけられると中からトンネル越しで手を合わせ、子ども同士で関わり合う姿が見られます。

おもちゃライブラリーのご案内

おもちゃライブラリーは、通園児親子に限らず地域のどなたでもご利用できるように、プレイルームを開放している日です。ゆったりとしたスペースで、トランポリンやすべり台等の大型遊具や好きなおもちゃを使って自由に遊べます。雨の日も安心です。

また、遊びのアドバイスや子育てに関するご相談に応じています。お子さんのことでお聞きになりたいことがありましたら、何なりとお尋ねください。

3月までの予定は次の通りです。

原則として、金曜日の15時～16時30分に開催しています。

12月16日

1月27日

2月24日

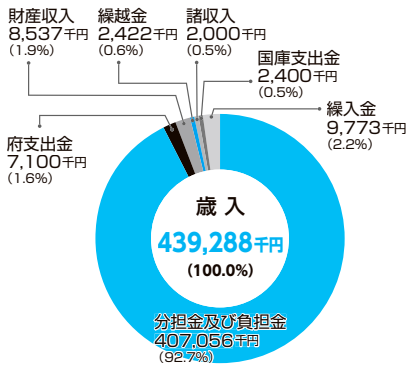
3月24日

卒・退園児のための施設開放事業時間は10時～15時です。

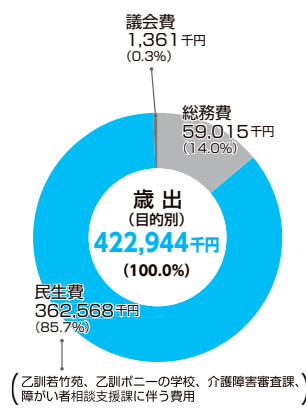
平成29年1月6日(金)、3月31日(金)

平成27年度決算

財政状況の公表

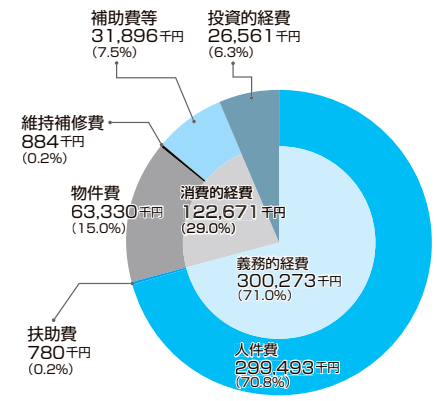


※予算の詳細についてはホームページに掲載しています。



(乙訓若竹苑、乙訓ボニーの学校、介護障害者課、障がい者相談支援課に伴う費用)

歳出を性質別に見てみると



平成27年度の乙訓福祉施設事務組合一般会計決算は、10月3日に行われた組合議会で認定されました。

歳入4億3千928万8千799円、歳出4億2千294万4千943円で、差引残額は1千634万3千856円となりました。前年度との比較

では歳入は11.6%の増、歳出は8.1%の増となっています。

歳入歳出の主な内容は、上記のグラフのとおりです。

なお、決算の詳細は組合のホームページに掲載しておりますので、そちらもご覧ください。

平成28年度上半期

乙訓福祉施設事務組合は、財政状況の公表に関する条例に基づき、毎年6月と12月に組合財政の状況について公表しています。

今回は、平成28年度の上半期分として、平成28年9月30日現在における予算の執行状況や組合財産の現在高等についてお知らせします。

一般会計歳入歳出予算執行状況

(平成28年9月30日現在)

歳入

(単位：千円)

款	予算現額	構成比	収入済額	収入率
1 分担金及び負担金	397,759	95.6%	202,288	50.9%
2 国庫支出金	2,400	0.6%	0	0.0%
3 府支出金	6,200	1.5%	2,500	40.3%
4 財産収入	6,733	1.6%	2,766	41.1%
5 繰越金	1,000	0.2%	16,344	1.634%
6 諸収入	2,221	0.5%	817	36.8%
歳入合計	416,313	100.0%	224,715	54.0%

歳出

(単位：千円)

款	予算現額	構成比	支出済額	執行率
1 議会費	2,009	0.5%	1,252	62.3%
2 総務費	61,204	14.7%	28,850	47.1%
3 民生費	352,100	84.6%	159,090	45.2%
4 予備費	1,000	0.2%	0	0.0%
歳出合計	416,313	100.0%	189,192	45.4%

組合財産の現在高

(平成28年9月30日現在)

区分	数量・面積	内容
土地	3,286.46㎡	若竹苑 ボニーの学校用地(旧ボニー用地含む)
建物	2,045.58㎡	若竹苑、ボニーの学校(組合庁舎含む)
物品	84品	1品10万円以上の物品

基金の状況

(単位：千円)

名称	平成28年9月30日現在残高
財政調整基金	2,007
施設整備基金	0

一時借入金の状況

平成28年9月までの一時借入金の借入実績は、ありませんでした。

11月に大山崎町議員の役職選挙が行われました。11月1日現在の組合議会議員は、次の方々です。
議長は、今後開催される議会で選出予定です。

議会は傍聴可能です。
(予約不要)
議会日程についてはホームページに掲載しています。

議員	副議長	監査委員
前川 光	田村 直義	飛鳥井佳子
福田 正人	太田 秀明	飛鳥井佳子
辻 真理子	北村 吉史	飛鳥井佳子
武山 彩子	白石多津子	飛鳥井佳子
武山 彩子	白石多津子	飛鳥井佳子
武山 彩子	白石多津子	飛鳥井佳子
武山 彩子	白石多津子	飛鳥井佳子
武山 彩子	白石多津子	飛鳥井佳子
武山 彩子	白石多津子	飛鳥井佳子

組合議会議員紹介

乙訓圏域障がい者総合相談支援センター

TEL.075-954-7939 FAX.075-959-9086

平成19年4月から乙訓圏域での障がい者相談支援ネットワーク事業（乙訓圏域障がい者総合相談支援センター）を実施し、専門職員として相談支援専門職員（GM＝ゼネラルケアマネジャー）を配置しています。

GMは乙訓圏域の障がい者の相談支援事業を実施している事業所や関係機関に対し、そのケアマネジメントの手法を用いた助言等を行うことと、障がい福祉サービスのネットワーク会議（地域自立支援協議会）の事務を行います。

乙訓では圏域での障がい福祉サービスが多く実施されています。そのため相談支援事業所をはじめ関係者は圏域内でどのようなサービスが実施されているかを知り、利用者にとってなにが必要かを考え、サービスを調整し、届ける必要があります。また共通の困難事例や課題について共有し、サービスの改善や開発に向けた協議も必要です。乙訓2市1町はそのようなネットワークをつくるために行政も含めた34の関係機関・団体が参加する「乙訓圏域障がい者自立支援協議会」を設置しています。

今年度は5月20日に全体会を開催し、1委員会、2部会、3プロジェクトを設置し、協議を進めていくことが決定しました。



乙訓障がい者基幹相談支援センター

TEL.075-952-6521 FAX.075-959-9086

平成28年度第1回乙訓障がい者基幹相談支援センター研修会を11月2日に開催しました。今回は「社会的リスクのある人への支援について－触法行為に関する基礎を学び、相談支援にいかすために－」と題して、中田政義弁護士に講演をしていただきました。

法に触れた場合の手続きの流れや、当番弁護士についてなどわかりやすくお話ししていただきました。司法制度について支援者として対応すべき点についても詳しく知ることができました。



乙訓障がい者虐待防止センター

TEL.075-959-9085(通報専用) 075-952-6521 FAX.075-959-9086

乙訓障がい者虐待防止ネットワーク会議及び研修会を7月11日に開催しました。会議ではネットワーク委員の改選があったため委員の紹介と乙訓障がい者虐待防止センターの平成27年度の事業報告、平成28年度の事業計画について報告を行いました。

研修会では甲南女子大学 鈴木 大介准教授に「障がい（児）者の見守りネットワークについて」と題した講演をしていただきました。日常を共にするものとのつながりをもった見守りネットワークを通じて“困っている人を見逃さない”地域作りができること、そこには専門職とのつながりが必要であることなどをお話しいただきました。



※虐待通報のメールアドレスが変更になりました。
（新メールアドレス） otsufuku-center@y-mobile.ne.jp

訂正
おつふくつうしんNo.35で平成27年度虐待通報受理件数のご報告をしましたが、誤りがございました。ここに訂正してお詫び申し上げます。

分類	通報受理件数	虐待有りと判断した件数	調査中件数	虐待無しと判断した件数
養護者による	10	5	2	3
施設従事者による	3	0	0	3
使用者による	1	0	1	0

乙訓福祉施設事務組合人事行政の運営等の状況

本組合における人事行政の公正性、透明性を高めるため、「乙訓福祉施設事務組合人事行政の運営等の状況の公表に関する条例」に基づき、職員の任免・給与・勤務条件・服務の状況などを公表します。なお、詳しくはホームページをご覧ください。

①職員の任免および職員数に関する状況

1 職員の採用・退職（平成27年4月2日から平成28年4月1日）		
区分	退職(人)	採用(人)
事務職	1	1
指導員	0	0
相談員	0	0
合計	1	1

2 退職事由（平成27年4月1日から平成28年3月31日）					
区分	定年	勲奨	普通	その他 出向など	合計
人数(人)	0	0	1	0	1

3 再任用の状況（平成27年4月1日から平成28年4月1日）	
区分	人数(人)
平成27年4月1日在職者数	1
平成28年4月1日在職者数	1

4 年齢別職員数（平成28年4月1日）						
年齢	20歳未満	20歳～23歳	24歳～27歳	28歳～31歳	32歳～35歳	36歳～39歳
職員数(人)	0	1	2	6	8	2
年齢	40歳～43歳	44歳～47歳	48歳～51歳	52歳～55歳	56歳～59歳	合計
職員数(人)	1	2	0	4	4	30

5 職員数の推移							
年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	過去5年間の 増減数(率)
職員数(人)	27	27	29	30	30	30	3(11.1%)

6 級別職員数の状況（平成28年4月1日現在）								
区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	計
標準的な職務内容	主事	主事	主査 主事	係長 総括主査 主任	課長補佐 施設長補佐	次長 課長 施設長 主幹	局長	
職員数	1	4	5	13	2	4	1	30
構成比（%）	3.3	13.3	16.7	43.4	6.7	13.3	3.3	100

（注）一般職の職員数です。

②職員の給与等のあらまし

組合職員の給与は、国家公務員等に準じ「条例」に基づき支給されています。なお、ここでお知らせする給与などは、税金や社会保険料を控除する前の額で、手取り額ではありません。

1 職員給与の状況（平成27年度決算）					
（注）1 職員数は、27年4月1日現在の人数（再任用職員を含む）にかかる金額です。 2 職員手当には、退職手当、児童手当を含みません。					
職員数 (A)	給与費				一人当たりの給与費
	給料	職員手当	期末・勤勉手当	計(B)	(B/A)
31人	102,315千円	20,956千円	42,977千円	166,248千円	5,362千円

2 職員の平均給料月額 及び平均年齢の状況 (平成28年4月1日現在)	一般行政職	平均給料月額	平均年齢
		306,240	38.8歳

3 職員の初任給の状況（平成28年4月1日現在）			
区 分		組 合	国
一般行政職	大学卒	178,900円	176,700円
	高校卒	150,900円	144,600円

③職員の勤務時間その他の勤務条件の状況(平成27年度)

1 職員の勤務時間（標準的なもの）		
1週間の勤務時間	1日の勤務時間	休憩時間
38時間45分	午前8時30分～午後5時15分	午後0時～午後1時

4 退職手当の状況（28年4月1日現在）					
区分	組 合			国	
退職手当	支給率	自己都合	応募・定年	自己都合	応募・定年
	勤続20年	20.445月分	25.55625月分	組合と同じ	
	勤続25年	29.145月分	34.5825月分		
	勤続35年	41.325月分	49.59月分		
	最高限度額	49.59月分	49.59月分		
	その他の 加算措置	定年前早期退職者 特例措置 2～20%加算		定年前早期退職者 特例措置 3～45%加算	

（注）退職手当の支給に関しては、本組合を含む7市11町村13一部事務組合（平成28年4月1日現在）で組織する「京都市府町村職員退職手当組合」に加入しています。

④職員の分限及び懲戒処分状況(平成27年度)

1 分限処分の状況	2 懲戒処分の状況
該当ありません。	該当ありません。

情報公開制度・個人情報保護制度の実施状況について(平成27年度)

情報公開制度は、組合が保有する情報を積極的に公開することで、より一層開かれたものにする制度です。ただし、情報が個人情報や意思形成過程情報などに該当するときは、非公開となる場合があります。
個人情報保護制度は、組合が保有する個人情報について具体的な管理ルールを定めプライバシーを保護するとともに、本人からの請求により自己に関する情報の開示などを求めることができる制度です。

	請 求	公 開	非 公 開
情 報 公 開	0 件	0 件	0 件
	請 求	開 示	不 開 示
個人情報保護	17 件	17 件	0 件

介護障害審査課

介護障害審査課は、向日市・長岡京市・大山崎町（以下、2市1町）における介護保険の要介護認定と障害者総合支援法に基づく障害支援区分認定の審査会事務を業務としています。

※要介護認定・障害支援区分認定の流れについては、これまでの広報でご紹介しておりますが、詳細につきましてはホームページをご覧ください。

2市1町の高齢化について

現在、日本の65歳以上の高齢者は3,400万人を超え、高齢化率は約27%となりました。国は、今後も高齢化は進むと予想し、総人口の動向とも関連しますが、平成47年には3人に1人が65歳以上の高齢者になると推計しています。

そのような中、ここ乙訓地域においても高齢化は進んでおり、それに伴い要介護認定を受ける方も増加しています。平成28年9月30日現在、2市1町の総人口は15万2,045人で、そのうち65歳以上の高齢者は3万9,956人、高齢化率は26.3%となりました。要介護認定を受けている方は、65歳以上の高齢者のうち2市1町合計で7,084人、17.7%です。3年前と比較すると高齢者人口は4千人以上増え、認定者数も900人以上の増加となっています。

2市1町それぞれの人口や割合については、下記の表のとおりです。

（平成28年9月30日現在）

	人口	高齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	認定者数 (人)	認定者率 (%)
向日市	55,563	14,738	26.5%	2,526	17.1%
長岡京市	80,781	20,856	25.8%	3,758	18.0%
大山崎町	15,701	4,362	27.8%	800	18.3%
合 計	152,045	39,956	26.3%	7,084	17.7%

※第2号被保険者（40歳～64歳）は含みません。



乙訓若竹苑

乙訓若竹苑は、就労継続支援(B型)事業・生活介護事業・地域活動支援センター事業・日中一時支援事業・相談支援事業を行っています。
TEL 075・954・6501 FAX 075・954・6588

就労継続支援(B型)事業

9月5日、就労継続支援(B型)事業では、保護者の方にお越し頂き、事業別報告会を行いました。「べんがら染め」の手ぬぐいを染める作業を保護者の方々にも一緒に体験して頂き、色とりどりの手ぬぐいが完成しました。染める人が変わればがらっと違う雰囲気の模様になり、完成品を見せ合いながら楽しい時間を過ごすことができました。



9月21日、乙訓若竹苑では保健衛生講話を実施しました。保健衛生講話では、年に2回、嘱託医の先生から健康についてお話し頂いています。今年のテーマは「生活習慣病について」でした。最近、乙訓若竹苑の利用者さんの中にも高血圧の方が増えてきたため、一人一人の血圧を測り、塩分の取りすぎは良くないことやどんな調味料を使ったら良いのかなど、イラストを交えた資料を使いゲームのように分かりやすく、楽しく説明をしていただきました。

生活介護事業

●上半期の生活介護事業の様子

生活介護事業では、前年度から始めた野菜の栽培ですが、今年度は種類を増やし「きゅうり」「カボチャ」「プチトマト」の3種類に挑戦しました。しかし、猛暑により枯れたり、虫に食べられてしまったりして、収穫は少なかったのですが、実ったことに利用者も職員も達成感を得ることができました。収穫できたカボチャは調理レクリエーションでスイートポテト風のおやつを作るのに使いました。自分たちで育てたカボチャで作ったおやつは、また格別美味しく感じました。

現在は、冬に向け「大根」「水菜」作りに挑戦しています。次の野菜の収穫を楽しみにしながら、みんなで畑を耕したり、種植えの作業などを頑張っています。

●お願い

生活介護事業では生産活動・リサイクル活動のため、アルミ缶と牛乳パック(中身をよく水洗いし乾燥させたもの)の回収を随時行っております。ご協力いただける方は、乙訓若竹苑(075-954-6501 生活介護事業)までご連絡ください。皆様のご協力をお待ちしております。

●平成28年度アルミ缶による上半期の収入。

アルミ缶：総重量 250.4kg 買い取り価格 80～85円/kg
合計 21,180円の収入となりました。

ご協力ありがとうございました。



地域活動支援センター事業

●今年の夏野菜

春にみんなで何を植えようかと話し合い。定番のトマト、キュウリ、ナス、キャベツに加えて、カボチャ、オクラ、シシトウ、ピーマン、メロンを植えました。すべて植え終わると、「ホッ」とひと安心。後は、毎日水をあげて…と。

…数週間後、青々と育った野菜に虫と病気が。『ホッとひと安心』がいけなかった。植えたら終わりという空気が漂い、細かな手入れができていなかった。葉物は虫のごはん。私の期待を込めたメロンは、病気の為に成長が止まり、メロンのような物が獲れました。残念。もちろん収穫できた野菜も多く、みんなで調理して美味しく頂きました。さあ、次は冬野菜に向けて…。



●夏祭り

今年で2回目の夏祭り。昨年は2日間実施。今年は4日間実施しました。生活介護事業と合同が1日。地域活動事業単独が3日間です。

今年の目玉は「流しそうめん」です。4mほどの間を流れるそうめん、その間沸き起こる歓声。たったこれだけの事で人って笑えるんですね。しかも、取ったら食べられる。いや、流しそうめん凄いです。世界中で流しそうめんが広まったら、人々の笑顔が少し増えるのかなと思います。

ちょっと脱線しましたが、今年はコイン落とし、型抜き、かき氷、ヨーヨー(ハルア)釣り、空気砲での射的、職員と利用者さんによる手品(かなり盛り上がりました)、スイカ割り较去年よりも充実した内容でした。初日は、他課からもたくさん参加して頂き、祭りらしい賑わいがありました。

ご協力頂いたご家族さん、職員の皆さんありがとうございました。



「障がい」のひらがな表記について

「障害」の「害」という漢字は否定的なイメージを思い浮かべたり、不快感をもたれたり、人に対して使用することが心身に障がいを持つ方々への差別や偏見を助長しかねません。このことから、本組合で作成・発送する文書や広報などは、人や人の状態を表す「障害」の文字を「障がい」と表記します。但し、法律や制度の名称及び「障害物」など人や人の状態を表さない言葉では、従来どおりの表記となります。

